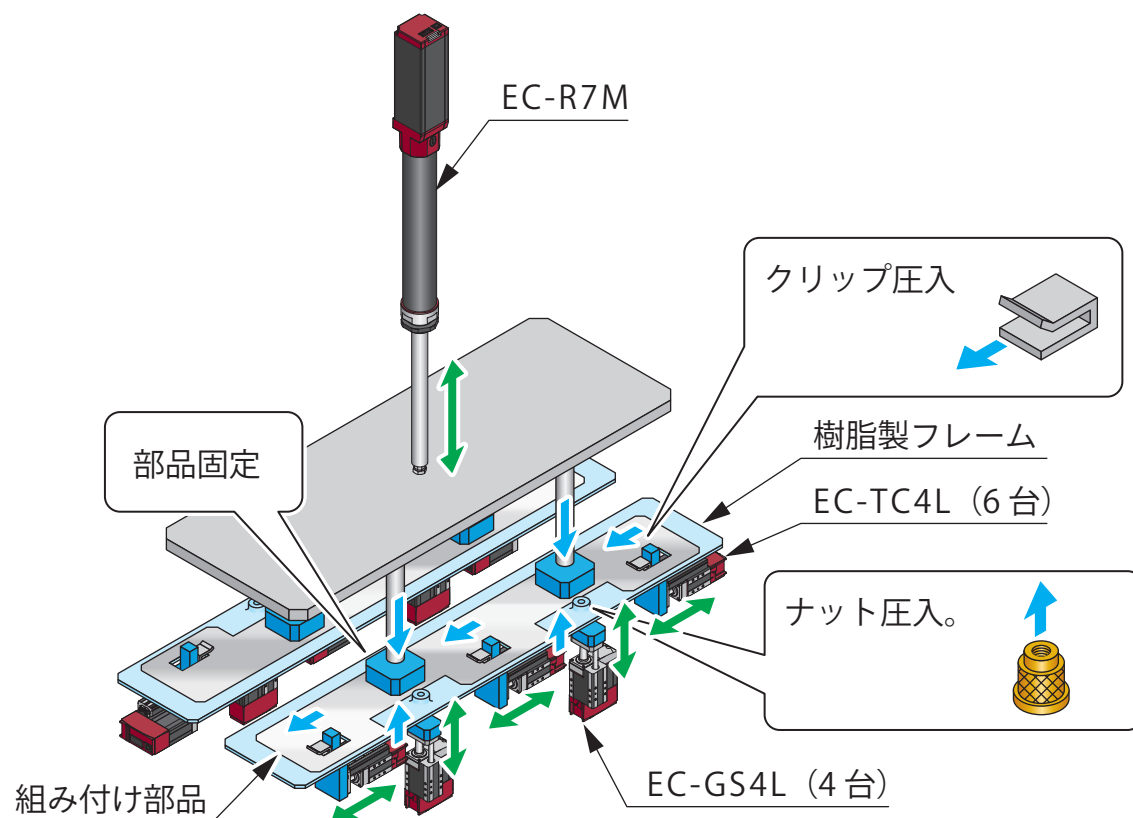


自動車内装部品組立装置

用途 樹脂製フレームに部品を組み付ける工程。



解説

エレシリンダーの「押付け機能」を使って組み付けを行うことにより、装置のエアレス化、センサーレス化ができました。部品をセットした状態で押付けを行うとエレシリンダーがトルクを検出し、「押付け完了信号」を出力しますが、作業者が部品をセットし忘れて押付けを行うと空振りと判定し、エレシリンダーは信号を出力しません。これにより、装置にセンサー類を取り付けなくても、ワークの「有り無し判定」が可能となりました。また、無線ティーチングにより、装置に組み付けてからの位置、速度の調整を容易に行うことが出来るため、装置製作時間、立上げ工数を大幅に削減できました。